

学校教育目標	【共に学び たくましく生きる 心豊かなナントツの子】 (知)自ら学び続け、自分の考えを深める子どもを育てます。 (徳)自分も友達も大好きな、あたたかい子どもを育てます。 (体)心と体を鍛え、自分や人の命と体を大切にすることを育てます。 (公)地域の人やものを大切に、共に生きる子どもを育てます。 (開)様々な社会の変化に柔軟に対応できる子どもを育てます。				
	創立 51 周年	学校長 古谷 操	副校長 熊谷真理子	2 学期制	一般学級: 13 個別支援学級: 4
学校概要	児童生徒数: 424 人 主な関係校: 下郷小学校・南戸塚中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	南戸塚中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈心身ともにたくましく生きる力〉 〈コミュニケーション能力〉 〈協働して課題解決する力〉	南戸塚中学校 下郷小学校	他の人や社会に役立つ人を目指して、 よく考えて行動し、たくましく生きる子ども 三校合同授業研究会や三校入権合同研修を通して、児童生徒の理解を深め、各教科領域においてテーマを意識した授業に取り組みながら小中連携を図っていきます。 ・だれもが、安心して授業が受けられるとともに、わかると楽しい授業づくりに取り組みます。また、小中交流を通して、子どもたちが期待感をもって中学校に進学できるようにします。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども一人ひとりを大切にしながら、子どもたちが豊かに学び、活躍できる学校づくりに努めます。 ・集団の中で自己肯定感・自己有用感を高め、一人ひとりが積極的に自分らしさを発揮できるようにします。 ・職員のチーム力向上に努め、子どもたちの学習意欲と学力向上を図ります。 ・地域とのつながりを意識し、体験的な活動を通して、地域での実践力を育てます。 ・環境美化に努め、危機管理意識をもって安全で安心な学びの環境づくりに励みます。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

重点取組分野	具体的取組
知 確かな学力	①単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくりをし、目指す姿や身に付けたい力を子どもたちと共有することで主体的に学習を進められるようにします。②重点研テーマを「主体的な学びを大切に、互いに認め合える子の育成」とし、国語科を中心に授業研究に取り組み、言語活動の充実を図りながら表現力を高めるとともに、主体的に課題に向き合い、他者と協働しながら解決しようとする姿を目指します。③ICTの活用を積極的に取り入れた授業づくりをします。
徳 豊かな心	①全教育活動を通して道徳教育の充実を図ります。②学校行事、ペア活動の充実を図り、様々な集団活動を通して、思いやりの心や協力する心、自己有用感を育てます。③家庭や地域との連携を図り、様々な人と関わることで気持ちをつなげるよさを実感できるようにします。
体 健やかな体	①規則正しい生活をしようとする態度を育てるとともに、子どもたちの主体的な活動を通して基本的生活習慣を整えていきます。②体育科を中心とした健康に関する学習の充実を図ると共に、制限された環境の中でも運動量を確保しながら、体力向上を目指します。③計画的に食育に取り組み、食事の重要性についての理解を深め、食への興味関心を高めていきます。
公開 地域連携	ナントツ協働運営協議会において、学校運営方針を積極的に発信するとともに、授業や学校行事の参観を通し客観的な意見や評価をいただき、子どもたちにとって最善の教育活動実現に向けて取り組みます。②地域の教育力を積極的に学校での教育活動に取り入れ学びの環境の充実を図ります。
いじめへの対応	①月1回定期的に校内いじめ防止対策委員会を実施し、専任を中心とした組織的な児童指導・支援体制を整え、教職員がチームとして認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努めます。②日常に潜むいじめについて丁寧な実態把握に努め、子どもの心情に寄り添うことを徹底します。
人材育成・組織運営(働き方)	①各学年の学級担任が互いに教科分担することにより、学年の全ての教員が全ての児童と日常的、継続的に関わる状況を生み出し、児童の心の安定につなげることを目指します。②メンターチームの活動の充実とともに、教科指導・人権教育・児童指導・危機管理対応などの能力向上を図ります。③会議の内容精選や組織の仕事分担の効率化を図り、全職員の働き方改革につなげます。
児童指導	①担任、専任、専科が連携し合い、情報を素早く得ると共に、管理職や全体での情報共有を迅速に行い、チームとして児童指導にあたるようにします。②学校のきまりや生活スタンダードを共通理解し、児童に対する指導が変わらず一定のものになるようにすることで、子どもが安心して学校生活を送ることができるようになります。
特別支援教育	①特別支援コーディネーターを複数配置し、配慮を要する児童に対して、共感的な児童理解を大切にしながら、個に応じた支援体制を充実させます。②必要に応じてスクールカウンセラーや外部機関とも連携を密にし、より良い支援の在り方を考え実践していきます。
安全管理	①児童の安全を第一に考え、日常の教育活動の他、行事や校外学習等での安全に十分配慮し、けがや事故の未然防止に向けた対策を徹底します。②子どもたちが安心・安全に過ごせるように環境整備を推進すると共に、防災訓練・交通安全指導等を通して、危機管理意識を高めていきます。
担当	拡大教務部 児童指導・特別支援部 特支コーディネーター 防災・安全・環境・キャリア部